

謝 辞

このたびは、多くの皆様方のご協力を得まして、「Japio YEAR BOOK 2016」を発行することができましたことを、心よりお礼申し上げます。

ご多用のなか、特別寄稿としてご寄稿を頂きました、国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター 辻井潤一 研究センター長をはじめ、官公庁、各種団体、大学、企業等の各界を代表される方々から多数のご寄稿や情報システム・サービスの紹介を賜りました。ここに深甚なる感謝の意を表します。

本誌に掲載された情報は、特許情報や技術情報に関係される多くの方々には有益な情報となり、さらに情報システム・サービスを提供しておられる各社様の今後のご発展の一助になるものと確信しております。

当財団は、質の高い特許情報を提供することにより、経済社会への貢献を目指すことを理念として、企業の技術開発の促進等に貢献すべく、特許情報の充実と普及啓発に取り組んでおります。今後もこの理念を時代に沿った形で実現していくために、特許情報の「機械翻訳」や「検索」に関する技術の研究を進めることで、当財団が提供する特許情報の品質向上に努めて参ります。さらに、「産業日本語」の研究・普及や、「Japio YEAR BOOK」発行や「特許情報フェア&コンファレンス」開催などの機会を利用し、特許情報に関連する知見や最新技術動向を広くお知らせしていくことなどを通じて、社会に貢献していく所存です。

今後とも、私ども一般財団法人日本特許情報機構に対して、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、謝辞とさせていただきます。

追 悼

2007年度に活動を開始いたしました「産業日本語」プロジェクトにおいて、そのコンセプト策定に大きく貢献され、今日に至るまで主導的役割を担って精力的に活動していただき、また Japio YEAR BOOK の創刊以来、毎年ご寄稿を賜りました東京工科大学 横井俊夫 名誉教授におかれましては、本号へのご寄稿の後に、志半ばにして急逝されました。誠に哀悼にたえません。そのご遺志を引き継ぎ、当財団は、今後も産業日本語プロジェクトの活動を進めていく所存ですので、引き続き皆様方からのご支援とご協力をお願い申し上げます。